

出穂は「**平年並～2日早い**」見込み！**生育診断を必ず実施！遅れず穂肥！**

出穂期は、平年並～2日早まる見込みです。穂肥は遅れず実施しましょう。
移植時期により生育差がみられるため、必ず生育診断を行い、葉色が濃い場合には、減肥を行うなど、食味重視の穂肥に努めましょう。

○6月30日現在の生育状況

草丈は平年並～やや長く、茎数はほ場ごとのばらつきが大きく、葉色は平年並～やや濃く、葉数はやや少ない～少ない状況です。

平坦部「はえぬき」の生育（西置賜農業技術普及課生育診断圃）

項目	飯豊町(移植 5/16)		概況
	調査値	平年比(差)	
草丈(cm)	50.8	101	草丈：平年並
茎数(本/m ²)	554	88	茎数：少ない
葉数(L)	9.2	-0.7	葉数：少ない
葉色(SPAD)	42.9	-1.4	葉色：やや淡い

「つや姫」の生育（西置賜農業技術普及課生育診断圃）

項目	飯豊町(移植 5/15)		概況
	調査値	平年比(差)	
草丈(cm)	50.4	103	草丈：やや長い
茎数(本/m ²)	582	101	茎数：平年並
葉数(L)	9.7	-0.2	葉数：やや少ない
葉色(SPAD)	43.8	+1.0	葉色：やや濃い

「雪若丸」の生育（農業技術普及課生育診断圃）

項目	飯豊町(移植 5/13)		概況
	調査値	平年比(差)	
草丈(cm)	47.8	101	草丈：平年並
茎数(本/m ²)	749	99	茎数：平年並
葉数(L)	9.8	-0.4	葉数：やや少ない
葉色(SPAD)	46.5	+0.5	葉色：平年並

直ちに中干し！作溝とセットで効率的な水管理！

- 中干しは田面に小ヒビが入る程度を基本とします。生育量が大きい場合や葉色が濃い場合は強めに行い、生育量が小さい場合や葉色がさめかかっている場合は弱めに行いましょう。
- 作溝を行うことにより、出穂期～登熟期まで効率的な水管理を行うことができます。

中干し
の効果

根域が拡がり、高温時、登熟期に根の活力が維持され、品質アップ！

生育診断を必ず実施、遅れず穂肥！

○穂肥の施用時期は下表を目安にし、施肥量はそれぞれの品種の生育診断に基づき行いましょう。
出穂は平年並～2日早まる見込みです。生育の早い圃場では遅れず穂肥を実施しましょう。

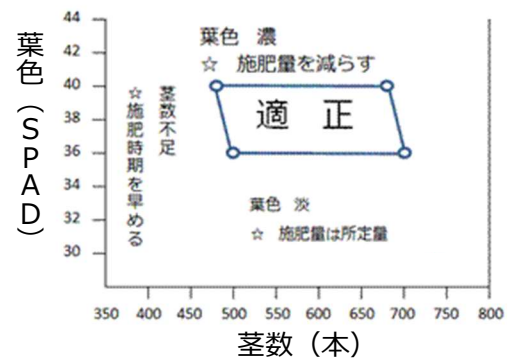
品種	出穂期 (本年予想)	出穂期 (平年)	穂肥の タイミング	穂肥時期の 目安	施肥量 (N kg/10a)
ヒメノモチ	7月31日	7月31日	出穂 25 日前	7月6日	2.0
ひとめぼれ	8月2～4日	8月4日	出穂 20 日前	7月13～15日	1.5
雪若丸	8月3～5日	8月5日	出穂 25 日前	7月9～11日	1.5
はえぬき	8月4～6日	8月6日	出穂 25 日前	7月10～12日	1.5～2.0
つや姫	8月9～11日	8月11日	出穂 30 日前	7月10～12日	1.0～1.5
コシヒカリ	8月10～12日	8月12日	出穂 18～15 日前	7月23～26日	1.0～1.5

【幼穂長と出穂前日数】 ～親茎をむいて幼穂の長さで判断～

幼穂の長さ：出穂前日数 → 0.5～1 mm : 25日 1.5～2.0 mm : 20日 8～15 mm : 18日 2～5cm : 15日

はえぬきの穂肥診断 7月上旬（10葉期）

- 茎数と葉色が適正内であれば、追肥は出穂 25 日前、窒素成分 1.5～2.0 kg/10a を施用する。
- 茎数が 700 本/m²以上、または葉色が 40 以上の場合、窒素成分を減らし、**1.0～1.5kg/10a に減肥する。**
- 茎数が 450 本/m²以下の場合、穂肥時期を早める。



斑点米カメムシ類「やや多い」！

- 発生量が多いため、早急に草刈りを実施し、密度を減らすことが重要です。
 - 7月20日頃まで畦畔・農道、雑草地の除草（草刈）を地域ぐるみでしっかり行いましょう。
 - 水田内のイヌホタルイやノビエはアカスジカスミカメの発生減となるため、残草対策もしっかり行いましょう。
- ※除草剤の使用時期を確認し、使用しましょう。



アカヒゲホソミドリ
カスミカメ



アカスジカスミカメ

葉いもちに注意！

- 感染に好適な条件が続いており、葉いもちの多発が懸念されます。
- しっかり圃場を観察し、**早期発見・早期防除を徹底しましょう！**



農作業事故・熱中症に注意！

- ◎ 「もうちょっと…」という無理が重大事故につながります。
- ◎ 熱中症予防のために水分補給と休息をしっかりと取りましょう！